

国立保健医療科学院 公開シンポジウム 2021

参加無料

事前申込制

事前申込は、
当院ホームページからお願いします

参加申込締め切り：6月25日(金)

日時：令和3年6月29日(火) 13:30~16:55
オンライン開催

テーマ

たばこを取り巻く最新事情

～改正健康増進法の完全施行1年を振り返り、成果と今後の課題を考える～

2020年4月に改正健康増進法が完全施行され、我が国の受動喫煙対策が強化された。施行にあたり保健所は大きな役割を担うことが期待されたが、新型コロナウイルス感染症の影響により対応が遅れざるを得ない状況となった。原則禁煙となった飲食店も感染対策が優先となり、禁煙化への移行にまで手が回っていない例が多い。一方で、喫煙者の新型たばこの利用は引き続き拡大しているが、公衆衛生従事者において、新型たばこの特性についての知識普及は進んでいるとはいえない現状がある。

そこで本シンポジウムでは、改正健康増進法の完全施行後1年を踏まえ、その成果と課題について院内外から専門家を招いて議論を深める機会としたい。

プログラム

開会挨拶 宮崎 雅則 (国立保健医療科学院 院長)

教育講演 **改正健康増進法の施行1年の振り返りとこれから**
荻野 慶隆 (厚生労働省 健康局健康課)

特別講演 **受動喫煙による健康影響：日本人を対象としたエビデンスからわかること**
片野田 耕太 (国立がん研究センター がん対策情報センター がん統計・総合解析研究部)

講演 1 **加熱式たばこ・電子たばこの成分とヒトへのばく露について**
稲葉 洋平 (国立保健医療科学院 生活環境研究部)

特別企画 **国立保健医療科学院におけるたばこ研究の紹介 (実験室より)**

休憩

講演 2 **改正健康増進法の保健所における対応状況について**
鈴木 仁一 (相模原市保健所 (全国保健所長会))

講演 3 **飲食店禁煙化と経営への影響**
姜 英 (産業医科大学産業生態科学研究所 健康開発科学研究室)

講演 4 **今後必要とされる研究の方向性**
戸次 加奈江 (国立保健医療科学院 生活環境研究部)

総合討論と質疑応答

片野田 耕太・稲葉 洋平・鈴木 仁一・姜 英・戸次 加奈江
座長：牛山 明 (国立保健医療科学院 生活環境研究部)

閉会挨拶 曽根 智史 (国立保健医療科学院 次長)

主催 国立保健医療科学院

〒351-0197 埼玉県和光市南2-3-6
お問い合わせ/TEL:048-458-6186 FAX:048-458-6112

参加申込はこちらから <https://www.niph.go.jp/>



シンポジスト紹介



国立がん研究センター がん対策情報センター がん統計・総合解析研究部

片野田 耕太

1996年東京大学法学部を卒業後、同大学院医学系研究科に進学し脳科学の研究を行う。国立健康・栄養研究所の研究員などを経て現在は国立がん研究センターがん統計・総合解析研究部長として、がんの統計、たばこ対策、がん教育などで研究活動を行っている。2016年には厚生労働省「喫煙の健康影響に関する検討会報告書」を編集責任者としてとりまとめた。近著に『本当のたばこの話をしよう 毒なのか薬なのか』（2019年 日本評論社）。



国立保健医療科学院 生活環境研究部

稲葉 洋平

専門分野は、分析化学、衛生学、公衆衛生学。現在は、たばこ製品に含まれる化学物質の分析法の開発、国内たばこ製品の調査に取り組んでいる。また、喫煙者、受動喫煙者の生態影響、受動喫煙環境の調査にも取り組んでいる。WHOたばこ研究室ネットワークメンバー。



全国保健所長会

鈴木 仁一

1982年 群馬大学医学部卒業。1984年 千葉県鴨川保健所。1986年-1995年 旧厚生省。1995年-2000年 宮崎県庁。2000年-2002年 厚生労働省。2002年-2014年 神奈川県保健所（7カ所）。2014- 現在相模原市保健所



産業医科大学産業生態科学研究所 健康開発科学研究室

姜 英

専門分野はバイオ統計学、疫学、公衆衛生学、産業衛生学等。現在は主に、受動喫煙対策（タバコの値上げ、職場の全面禁煙）の効果評価、喫煙による個人の医療費や企業の経済損失の評価、加熱式タバコの認知状況と使用実態調査などの統計的評価を中心とした研究に取り組む。



国立保健医療科学院 生活環境研究部

戸次 加奈江

分析化学や環境衛生化学を専門分野とする中で、近年は、安全な生活環境の維持に向けて、室内環境問題や喫煙問題を中心に化学的な観点から問題解決のための研究に取り組む。また、WHOたばこ対策ネットワークメンバーとして、たばこ製品中の有害成分の規制に向けた研究にも取り組んでいる。



【座長】国立保健医療科学院 生活環境研究部

牛山 明

当院において2019年から統括研究官、2021年から生活環境研究部長。専門は公衆衛生学、衛生学、環境生理学、環境リスク学等。当院においてたばこや電波など環境中の物理・化学因子の衛生学的研究に取り組む。厚生労働省「たばこの健康影響評価専門委員会」委員、WHO-FCTC the Expert Group on Articles 9&10メンバー。

※ 本シンポジウムは行政機関・医療機関において、たばこ対策に関係している方を主な対象としております。対象以外の方も参加できますが、あらかじめこの点を御承知おきください。

※ 業務の関係等によりライブで視聴できない方のために、終了後1週間程度、オンデマンドで配信予定です。その場合でも事前の申込みが必要です。

※ 参加にはインターネット（zoom）接続が可能なPC、タブレット、スマートフォンが必要です。